

デジタルデータ及び社会調査・統計調査 の活用：方法と課題

開催趣旨

データサイエンスの興隆に伴い、従来の社会調査・統計調査のデータに加えて、デジタルデータの活用が期待されている。しかし、デジタルデータやビックデータの収集、分析、活用に関しては、倫理的側面も含めたガイドラインも開発されているが、検討すべき課題も少なくない。本シンポジウムではデジタルデータの活用に関する課題を、従来の社会調査・統計調査の経験をふまえつつ議論する。

開催概要

令和7（2025）年7月19日（土）13:00～17:10

オンライン開催

どなたでも参加可能（事前申込制：参加費無料）

定員300名

プログラム

（司会）岩井紀子（日本学術会議第一部会員／日本版総合的社会調査共同研究
拠点大阪商業大学JGSS研究センター センター長）

13:00-13:05 開会の挨拶 浅川達人（日本学術会議連携会員／早稲田大学人間科学学術院教授）

13:05-13:10 開会の挨拶 橋本隆子（日本学術会議連携会員／千葉商科大学副学
長／商経学部教授）

13:10-14:10 「生成AIを含むデジタルデータの活用の現状と問題点」
笹原和俊（日本学術会議連携会員（特任）／東京科学大学環境・社
会理工学院教授）

14:10-15:10 「生存情報学が拓く未来 ～データがつなぐ人と社会のウェルビーイ
ング～」
橋本隆子（日本学術会議連携会員／千葉商科大学副学長／商経学部
教授）

15:10-16:10 「社会調査・社会学からみたデジタルデータ活用の課題」
筒井淳也（日本学術会議連携会員／立命館大学産業社会学部教授）

16:10-17:00 討論 進行：村上あかね（日本学術会議連携会員／桃山学院大学
社会学部教授）、瀧川裕貴（日本学術会議連携会員／東京大学大学
院人文社会系研究科准教授）

17:00-17:10 閉会の挨拶 玉野和志（日本学術会議連携会員／放送大学教養学部
教授）

申込み：参加費無料・要事前申込
以下の申込フォームより、申し込み
<https://forms.gle/ke1yiAFc7u8zkatH9>

問い合わせ：玉野和志
メールアドレス：tamano(a)k.email.ne.jp
※(a)を@にしてお送りください。

主催：日本学術会議社会学委員会デジタルデータ及び社会調査・統計調査の活用
に関する検討分科会、情報学委員会サイバー・フィジカル環境における生存情報
学検討分科会